

5月の総代会の事業計画承認を受け、いよいよ観光協会がギアチェンジをして「本格的」に動き出します!! 安芸太田町観光協会の取り組みにぜひご注目ください!!

●協会発足以来、初の町民向け事業説明会を3地区で開催しました。

観光協会が大きく動き出す事を受け、誰の為?そして何の為? 出口目標は? 具体的戦力戦術は?などを町民の皆さんに説明する機会を初めて設けました。

これは従来型観光振興からあるべき観光振興へと、大胆に移行するに当たり、観光事業者だけでなく町民の皆さん一人ひとりにご理解いただく必要があると考えた結果、開催に至りました。

説明会は6月11日、12日、13日にそれぞれ筒賀地区・戸河内地区・加計地区で開催しました。

町民の元気あつての地域の元気、地域の元気あつての町の元気、町の元気あつての観光振興であることを念頭に、今後ご理解いただけるよう説明会を継続して行います。次回は12月に途中報告会を予定しています。

●観光客の方が町内で更に「お金」を使っていただく具体的な取り組みを始めました。

昨年度、観光客は久しぶりに増加しましたが、その割合に、利益を得た事業所さんが少ないということ課題として考えた結果、観光客がお金を落とす仕組みづくりが弱いということが考えられました。

そこで、共通テーマのもとで観光客を誘導する「仕組み」として、「涼活&涼食」キャンペーンを行います。これは広島県が強力に推進する「街中クールシェア」との連動企画でもあるため、告知力があります。涼しい場所が多い当町ですから、それらを前面に打ち出しつつ、お金が落ちるよう涼しい遊びとして「恐羅漢のZIPジップライン」と「温井ダムでのカヌー体験」を前面に出してお客様の消費を促します。

更に町内飲食事業者に涼食(涼しさを感じられるメニュー)統一キャンペーンの協力依頼をした結果、筒賀2、戸河内5、加計2の事業者が参加して、7月~8月31日までキャンペーンを行うこととなりました。

観光協会の本年テーマとして「一生懸命頑張ろうとする事業者さんを優先的に応援していく」があります。その意味においても我々とともに「前」に進んで下さる事業者が、より一層増える事を心から望んでいます。

●民泊事業で関西へ、更に雪国リゾートで台湾・タイ・シンガポールへ「安芸太田町」を売り込みに行きました。

当町には、素晴らしい観光素材がたくさんありますが、日本国内や世界各地にももっと素晴らしい観光地がたくさんあります。その中で当町を選んでいただくためには、他のどこにもないという「唯一性」そして「イメージ戦略」がとても必要ですし、それらを誰に売るかという事の見定めがさらに重要です。

残念ながら全国的に見ると、この部分で広島県及び県内各市町は若干立ち遅れており、当町も例外ではありません。よってこれまでのやり方を大きく変えて売り込みをかける必要がありました。

民泊事業については「町民の人情深さと絆の深さ」そして、沖縄・台湾・タイ・シンガポールの雪にあこがれを抱く住民には「あなたの町(国)から最も近い積雪地帯」をイメージ化して様々な手段で売り込みを開始しています。日本最南端の積雪地帯(=あなたの町から最も近い積雪地帯)」というイメージは他県が持ちたくても持てないわけですから唯一絶対のイメージなのです。

それでは何故、教育旅行(民泊)と外国人誘致に力を入れるのか? 答えはいたって簡単です。

当町の観光振興の2つ目の問題点は、平日と休日そして繁忙期と閑散期の来町者数の差が歴然としており、平日およびシーズンオフの来町者数を増やす必要があるからです。その場合、平日やシーズンオフに来てくださる修学旅行生を含む学生団体と、外国人は最適なおお客様になり、一年を通じて安芸太田町の良さを多くの方々に感じていただきたいのです。

協会としては、限られた予算と人材を踏まえ、最大効果を出すために、さまざまな取り組みを行い、観光振興を見直しています。その点をご理解いただき、是非当会事業へのご協力を心から願います。